

【家庭分野の目標】

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学習内容(予定時間数)※調理実習の時期は感染状況を踏まえて検討します。

一学期（11）	二学期（16）	三学期（8）
<p>【4月～5月】 バランスの良い献立作り（3） ※学習ノート、ワークシートで評価</p>	<p>【9月～10月】 生活の課題と実践（1） 肉の調理（2） 魚の調理（2） ※学習ノート、ワークシート、実技</p>	<p>【1月】 消費者としての自覚（1） 購入方法と支払い方法バランス良く計画的な金銭の管理（1） 消費者トラブルとその対策（1） ※学習ノート、ワークシートで評価</p>
<p>【5月～6月】 食品の選択と購入（1） 生鮮食品の特徴（1） 加工食品の特徴（1） 食品の保存と食中毒の防止（1） ※学習ノート、ワークシートで評価</p>	<p>【10月～11月】 野菜・いもの調理（2） 日本の食文化と和食の調理（0.5） 持続可能な食生活を目指して（0.5） もしも住まいがなかったら（0.5） 住まいと気候風土の関わり（0.5） ※学習ノート、ワークシート、実技</p>	<p>【1月～2月】 何を考えて決めていますか～意志決定のプロセス～（1） 消費者としてできること～権利と責任～（1） ※学習ノート、ワークシートで評価 第4回定期テスト（1）</p>
<p>【6月～7月】 日常食の調理（2） 生活の課題と実践（1） ※学習ノート、ワークシート、実技、生活の課題と実践の提出物で評価 第1回定期テスト（1）</p>	<p>【11月～12月】 健康で快適な室内環境（1） 家族の住まいを安全・安心に（1） 災害への対策（0.5） 持続可能な住生活を目指して（0.5） 生活の課題と実践（3） ※学習ノート、ワークシート、生活の課題と実践の提出物で評価 第3回定期テスト（1）</p>	<p>【3月】 省エネルギーと持続可能な社会（1） 持続可能な消費生活を目指して（1） ※学習ノート、ワークシートで評価</p>

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）

	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<p><知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・学習ノート ・実技 ・定期テスト <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートやワークシート、学習カードは定期的に回収。自分の考えや意見を記入する場合は、AO、A、BO、B、Cで評価。学習内容を踏まえ答えられているもの（おおむね満足できる）がB、聞かれていることに対して学習内容を踏まえ、具体的に答えられているものがAO。 ※AOは満点、Aは満点に対して9割、BOは状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす） ・実技は、必要に応じて実技テストを行う。（包丁の使い方、ガスの使い方など） ※感染状況を踏まえて実技テストを行わない場合もある。 基本的な調理用具の安全で衛生的な使い方ができる、基礎的な日常食の調理ができるかどうか調理実習中の行動観察、またその後のテストで評価する。
II	<p><思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・学習ノート ・定期テスト ・生活の課題と実践の提出物 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートやワークシート、学習カードは定期的に回収。自分の考えや意見を記入する場合は、AO、A、BO、B、Cで評価。学習内容を踏まえ答えられているもの（おおむね満足できる）がB、聞かれていることに対して学習内容を踏まえ、具体的に答えられているものがAO。 ※AOは満点、Aは満点に対して9割、BOは状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす） ・長期休業中の課題は主に衣生活や住生活、消費生活に関して自らの生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、論理的に表現するものである。自分の生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして提出物を仕上げる

			とAOの満点。 ※AOは満点、Aは満点に対して9割、BOは状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす）
III	<p><主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価</p> <p>[平常点] ・学習ノート ・生活の課題と実践の提出物</p> <p>など</p>	<p>[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。</p> <p>[平常点] ・学習ノートの穴埋め部分は、記入できているかいないかで評価。できていれば、満点。 ・長期休業中の課題は主に衣生活や住生活、消費生活に関して自らの生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、論理的に表現するものである。自分の生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとする提出物の仕上がりになっていればAOの満点。 ※AOは満点、Aは満点に対して9割、BOは状況に応じて7～8割、Bは6～7割、Cは状況に応じて2～5割の配点。未提出の場合は、配点なし。（評価材料なしとみなす） ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとするかどうかをA～Cで評価する。授業観察で判定する。</p>